



2025.4.5

No. 375

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物認可

MONTHLY

れんごう

北海道

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 和田英浩
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

!!! みんなでつろう! 物価上昇を上回る賃上げを!
賃上げがあたりまえの社会

2025春闘・第27回参院選勝利!!

3.10全道総決起集会に1200人が結集

3月10日、連合北海道春季生活闘争本部(本部長:須間等)は、札幌市内カナモトホールにて「2025春季生活闘争・第27回参議院議員選挙勝利!!3.10全道総決起集会」を開催し、構成産別、地域協議会、退職者連合など組合員1200名が結集した。集会では大手先行組合の回答が集中するヤマ場を前に、賃上げなどの処遇改善に向けて意思統一を図るとともに、今夏に予定されている参議院選挙の連合推薦候補者を紹介した。

須間等本部長は主催者挨拶で「昨年春闘では大幅賃金引き上げとなったが、物価上昇により生活実態は良くなっていない。2025春闘では賃金・経済・物価を安定した巡航軌道に乗せる年とすることを目指し、何としても物価上昇を上回る賃上げを成し遂げなければならない」と力強く訴えた。



2025.3.10 春闘集会



勝部けんじ参議(右)と須間会長

和田英浩事務局長は、2025春季生活闘争取り組み経過や2025春闘方針、回答引き出しゾーンなどを共有した上で「最大のヤマ場である11日~13日を皮切りにみんなの春闘を展開し、労働組合の存在意義を広く社会にアピールして仲間を増やそう」と提起した。

その後、私鉄総連の加藤裕幸委員長、上川地協の井上和広会長代行から今次春闘への決意表明があった。参議院選挙に向けては、連合推薦候補者(比例代表)10名の紹介の後、勝部けんじ参議(北海道選挙区)から熱い決意表明があり、最後は荒川孝志本部長代行の団結ガンバローで激励し集会の幕を閉じた。

詳細はこちらから

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/9767>



道内経済5団体と労使懇談会を開催

3月4日、連合北海道は経済5団体(北海道経済連合会・北海道商工会議所連合会・北海道商工会連合会・北海道経済同友会・北海道中小企業団体中央会)と、札幌市内で労使懇

談会を開催し、中小企業における賃金引き上げによる企業規模間格差是正や雇用の安定、ワークルールの遵守、ジェンダー平等・多様性の推進、育児・介護と仕事の両立に向けた

環境整備などについて経済界に要請した。

須間等会長は、「2024春闘は連合北海道集計で定昇込み賃上げ率が4.53%と高い妥結結果となった一方、100人未満の企業の賃上げ率は3.88%と企業規模間格差が拡大している。2025春闘は、賃金が上がらないという社会は変わりつつあるが、さらに推進するには物やサービスの適正な価値が価格に反映されることが当たり前の社会を目指す必要がある。そのためには中小企業の『労務費を含む価格転嫁』の取り組みがより一層必要になっている」と賃金・経済・物価を安定した巡航軌道に乗せるべく決意を示し、経済団体が会員企業へ労務費の価格転嫁の指針の徹底や機運醸成の一役を担うよう協力を求めた。



道経連 藤井裕会長

北海道経済連合会の藤井裕会長は「『人への投資』の重要性をより意識し、賃金と物価の好循環を実現する必要がある。物価上昇に負けない持続的な賃上げのためには、労使で議論し自社の実情に適した処遇改善を前提に、社会全体での価格転嫁に対する理解促進と、徹底した生産性向上

が重要」と述べ、「パートナーシップ構築宣言の会員企業拡大と実効性の確保に向けた取り組み、DX推進、従業員のリスクリング等の支援強化に取り組む」と5団体を代表して挨拶した。

萩原光典連合北海道副会長（情報労連）は「様々な投資の仕方がある中で労働組合はまず先立った賃金や賞与の引き上げが生産性の高い仕事に結びつくと考えている」とし、経済を回していく消費者でもある労働者への先行投資による好循環の必要性を訴えた。加えて情報通信産業の抱える課題と展望について「インフラを担い、特に災害時はより一層途絶えてはならないところを求められるものの、原材料費が目に見えにくく、価格転嫁の考え方や理解が得られにくい業界である」とし、業界横断的に価格転嫁と賃上げの必要性を訴えた。



連合北海道 萩原光典副会長

詳細はこちらから

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/9765>



すべての労働者の処遇改善に向け 北海道労働局へ要請実施

連合北海道は3月14日、北海道労働局に対し、労働者の賃金をはじめとする労働条件改善に向けた要請を行った。

冒頭、須間等会長は、地場中小企業が多い北海道において「昨年の連合北海道集計では、100人未満と300人以上の企業で0.5ポイント以上の企業規模間格差が広がり、引き続き中小企業での労務費を含む価格転嫁の実効性の確保に向け取り組みを進める必要がある」とし、労働局には、1月開催の政労使会議で採択された共同宣言について中小企業への周知や支援を求めた。

北海道労働局の三富則江局長は「人手不足という構造的課題に直面する中、労務費を含めた価格転嫁が十分に進んでいるとはいえない。賃上げと人手不足緩和の好循環に向けて、一人ひとりの生産性や付加価値を高め、物価上昇に負けない賃上げを実現することが重要」とし、「労働局としては人材確保支援、リスクリング等のキャリア支援を通じた持続的構造的な賃上げ実現策、健康確保対策、育児や介護、治療と仕事の両立支援策など、働きやすい職場環境整備に取り組む」と挨拶した。



三富則江労働局長へ要請書手交

山田新吾組織労働局長から、①2025春闘における処遇改善要求②非正規労働者の均等待遇実現③最低賃金④若年労働者の雇用対策強化⑤ワークルールの遵守⑥育児や介護と仕事の両立支援などについて、企業・労働者への周知や支援、監督行政の取り組み強化を要請し、意見を交わした。

詳細はこちらから

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/wp-content/uploads/2025/03/20250321-syuntou-vol08.pdf>



2025春季生活闘争 第2回 回答集計結果(3月19日17時集計)

連合本部は、2025春季生活闘争について、3月19日17時時点で取りまとめた回答集計を発表した。

平均賃金方式で回答を引き出した1,388組合の加重平均(規模計)は17,486円・5.40%と、昨年同時期を上回った(昨年同時期比1,107円増・0.15ポイント増)。300人未満の中小組合(724組合)は、13,288円・4.92%(昨年同時期比1,372円増・0.42ポイント増)、昨年比の上げ幅では規模計をも上回った。

賃上げ分が明確にわかる1,116組合の賃上げ分は12,312円・3.79%(同1,050円増・0.15ポイント増)で、賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した2015闘争以降で最も高くなった(過去データは最終回答集計時点)。



連合本部集計結果はこちらから

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/roudou/shuntou/index2025.html>

連合北海道の第2次回答集計(3月21日12時時点)

集計可能な回答を引き出した組合は、47組合・21,757人(昨年同時期4組合増)となった。賃上げの加重平均は14,843円・5.36%(昨年同時期比2,215円・0.72%増)となった。

300人未満の中小組合30組合で11,601円・4.91%(同3,511円・1.38ポイント増)、300人以上の17組合は

15,222円・5.41%(同2,235円・0.69ポイント増)となり、引き上げ額・率ともに昨年を上回った。



連合北海道集計結果はこちらから

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/category/spring>

【組合規模別賃上げ状況 2025年3月21日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ペア込み)	昨年実績額 (定昇・ペア込み)	昨年比
300人未満	30組合	2,507人	11,601円(4.91%)	8,090円(3.53%)	3,511円(1.38%)
300人以上	17組合	19,250人	15,222円(5.41%)	12,987円(4.72%)	2,235円(0.69%)
計	47組合	21,757人	14,843円(5.36%)	12,628円(4.64%)	2,215円(0.72%)

賃上げ獲得に向け札幌市中心部で街宣を実施

連合北海道は、中小組合の回答引き出しゾーンの毎週月曜日(3月17・24・31日)の昼休み、札幌三越前において春闘の街頭宣伝行動を実施した。

初回の17日はあいにく春の嵐のように雪が降りしきる

中で、須間等会長と山田新吾組織労働局長が交代でマイクを握り、今次春闘における物価上昇を上回る賃上げの重要性と、原材料費の値上がりの中、人件費を含む適切な価格転嫁の必要性を訴えた。



雪の中でマイクを握る須間会長



札幌市中心部もこの積雪

3.8国際女性デー全国統一北海道集会を開催

連合は、3.8国際女性デーの取り組みを春季生活闘争の一環として位置づけ全国統一行動を展開し、連合北海道も3月8日に北海道集会を開催し、9産別5地区141人が参加した。

河原崎育子連合北海道女性委員会委員長から「2025年は国際女性デー50周年、1995年の第4回世界女性会議で『北京宣言と行動綱領』が採択されて30周年の節目の年である。女性委員会は男女平等社会の実現を目指した運動を進めるために、他産別と連携し女性の視点で仲間がエンパワーメントしていくためのあらゆる取り組みを推進する」と挨拶した。

基調講演として、やましたひでこ公認断捨離トレーナー北海道断捨離協会代表うえだますみさんより、「断捨離、今の自分を整えると過去と未来の自分も整う」と題して講演があった。

その後、全労金の上杉副執行委員長より「全労金は全国で14単組9,000名、北海道では570名からなり6割が女性、男女比率に応じて女性役員の登用を積極的に行っている。また主に女性組合員で構成されたジェンダー平等委員会を設置し、機関誌を年6回発行、女性に関わる休暇・育児休暇についての取り組みを進め、平和や多様性について学習会を開催する一方、委員会の開催時間を終業後から業務時間内に変更するなど、より参加しやすいよう工夫をしている。積立休暇を更年期休暇や通院・治療休暇に使用できるようにし、今後はアンケートに応じてDV被害休暇の導入も進めている」と



集会の様子

の産別報告があった。

集会アピールを採択し、締めくくりとして河原崎委員長より、「断捨離とは心と密接にかかわっていることを知り、心を見つめなおす良い機会となった。全労金の産別報告では、誰もが参加しやすい組合活動のあり方の推進や組合員の声に寄り添った休暇制度の導入など大変参考になるものであり、女性委員会はこれからも産別報告を通じて、好事例をそれぞれの産別・単組に持ち帰ってもらう活動を進めていく」と述べ閉会した。

詳細はこちらから

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/9802>



連合・教育文化協会共催 第22回 「私の提言」募集

優秀賞 副賞 20万円



今年は、ILEC30周年記念 組合特別賞あります!

募集テーマ

働くことを軸とする安心社会・まもる・つなぐ・創り出すの実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと (オリジナルで未発表のものに限る)

表彰

- 優秀賞 1篇 表彰盾と副賞 **20万円**
- 佳作賞 若干篇 賞状と副賞 **10万円**
- ILEC30周年記念・組合特別賞 賞状と副賞 **5万円**
- 奨励賞 若干篇 賞状と副賞 **3万円**
- 学生特別賞 1篇 賞状と副賞 **12万円**

奨学金1万円×12ヶ月
☆応募者には、もれなく記念品を進呈(入賞者および審査対象外となった方を除く)。
☆ILEC30周年記念・組合特別賞は、応募者が所属する組織で実績のある取り組みで、他の組織でも展開が可能なものが対象となります。
☆発表 2025年10月1日(水) [予定]

応募締切

2025年7月22日(火)

応募資格

どなたでも応募いただけます

応募方法

Webサイトの応募フォームから応募

応募・お問い合わせ先

公益社団法人 教育文化協会
E-mail info-ilec@sv.rengo-net.or.jp
電話 03-5295-5421

詳しくは

教育文化協会 私の提言 検索



4月の主な動き

- 4月 4日(金) 10:00 第5回改革パッケージ検証委員会／連合会館
- 4月 9日(水) 13:30 第11回(拡大)組織委員会／連合会館
- 4月11日(金) 13:30 第2回メーデー実行委員会／札幌ガーデンパレス
- 4月14日(月) 13:30 第3回中小・パート共闘会議／ポールスター札幌
- 4月17日(木) 13:30 第19回中央執行委員会／連合会館
- 4月18日(金) 10:00 公正取引委員会北海道事務所要請／第3合同庁舎
- 14:00 北海道経済産業局要請／第1合同庁舎
- 4月23日(水) 15:00 組織拡大推進特別委員会／ポールスター札幌
- 4月24日(木) 10:00 第5回執行委員会／ニューオータニイン札幌
- 12:45 第1回労働福祉事業団体役員推薦委員会／ニューオータニイン札幌
- 13:30 組織・財政特別委員会 第2回小委員会／ニューオータニイン札幌
- 14:30 第4回地協事務局長会議／ニューオータニイン札幌

イベントカレンダー

第96回全道メーデー
5月1日 午前9時30分 開会
札幌市中央区
大通西8丁目広場

